

本市のデータ

(1)面積 94.71km²

(2)人口

40国調	12国調	17国調	平24.6.1住基
35,443	50,062	50,011	49,724
65歳以上人口比率(17国調)			21.7%

(3)世帯数

40国調	12国調	17国調	平24.6.1住基
7,898	17,429	18,370	20,093

(4)沿革

平成17年4月1日、温泉観光地として名高い伊豆長岡町、歴史資産と農産資源の宝庫である韭山町、商工業で発展を遂げた大仁町の3町が合併し、伊豆の国市が誕生しました。

(5)産業構造

区分	就業人口 40国調	就業人口 17国調
1次	4,191 23.9%	1,550 5.9%
2次	5,002 28.5%	7,420 28.2%
3次	8,370 47.7%	17,165 65.3%
合計	17,564	26,270

本市の概要

伊豆の国市は、伊豆半島の北部、田方平野のほぼ中央に位置します。東は箱根山系の連山に、西は城山、葛城山などの山々に囲まれ豊かな自然環境を保っています。平野部は南北に狩野川が流れ、豊かな田園地帯が広がっています。また、狩野川に沿うように国道136号、伊豆箱根鉄道が走り、周辺に市街地を形成しています。

東京からは100km圏域にあり、東海道新幹線、東名高速道路を利用して2時間弱の所要時間であり、首都圏とのアクセスもよく、沼津市や三島市の静岡県東部の中心地に近く、交通の利便性に恵まれています。

源氏山周辺に長岡温泉、古奈温泉、北東部の山ろく地帯の奈古谷温泉、畑毛温泉、守山周辺に韭山温泉、南部に大仁温泉などがあり、また浮橋地区に新たな温泉資源が掘削されるなど、重要な観光資源となっています。

市内では、旧石器時代から江戸時代までの遺跡が見つかっています。その中でも、古墳時代の横穴墓、源頼朝の旗揚げと鎌倉北条一族に関する遺跡、戦国時代の北条早雲に関わる遺跡、江戸時代の韭山代官に関わる遺跡が国指定史跡に指定されています。このほかにも、旧石器時代から近代に至るまでの数多くの文化財が所在しています。温泉街を中心とした温泉旅館や周辺の史跡、展望施設、狩野川の鮎釣りやサイクリング、また、農業もイチゴ狩りやみかん狩りなど観光と深く結びついた産業の形態を示しており、観光を中心としたサービス業の集積があります。

平成23年6月、韭山反射炉が世界遺産暫定リスト掲載の「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産候補に追加されました。これにより、韭山反射炉が世界遺産になる可能性がでてきました。

韭山反射炉は、実際に稼働した反射炉として世界で唯一現存するもので、国内だけでなく、海外の専門家にも高く評価されています。

現在、平成27年度の世界文化遺産登録を目指し、推薦書の作成準備を行っています。

Emergence of industrial Japan
韭山反射炉を
世界遺産に
 Nirayama Reverberatory Furnace



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

伊豆の国市内では平成21年に19人、平成22年7人、平成23年は11人の方が自殺で亡くなっています。推定される原因は健康問題が一番多く50%、次に経済的な問題が40%を占めています。

自殺の原因には、経済・生活問題、健康問題、家庭問題等様々な背景・要因があり、制度・慣行の見直しや相談支援体制の整備など社会的な取り組みにより自殺を防ぐことが可能であると言われています。そのためにも、庁内一体となり、また市民を交え、社会全体が連携して自殺対策に取り組めます。

<自殺予防対策事業の実施状況報告>

(1) 対面型相談支援事業

- ①平成23年4月 メンタルヘルスこころの相談員の配置
本人や家族からの電話相談や面談、自宅等への訪問や個別会議の実施 他
平成23年度実績 461件

(2) 電話相談支援事業

- ①平成23年10月 自殺予防対策電話相談(24時間対応)事業の開始
相談支援事業所への委託事業
平成23年10月～平成24年3月の電話相談件数 延べ54件(実人員25人)
伊豆の国市居住者31件、県内東部6件、県外3件、不明14件

(3) 人材養成事業

- ①ゲートキーパー養成講座の開催
平成23年度 全6回開催 延べ319名参加
精神科医師を講師に招き、民生委員、ケアマネジャー、相談支援事業所、
居宅サービス事業所等の職員(ヘルパー等)を対象に開催
- ②平成24年3月 伊豆の国市ゲートキーパー手帳を作成(次年度に活用)

(4) 普及啓発事業

- ①平成23年10月 「ふれあい広場」(福祉まつり)にて普及啓発を実施
啓発用トイレットペーパー(うつ予防編)「お父さん眠れてる？」を購入配布する
- ②平成24年3月、啓発用のぼり旗を作成(次年度に活用)

(5) その他

- ①平成23年8月 伊豆の国市自殺対策連絡会の開催
副市長、保健福祉部長他、14部署で構成

